

# 国際交流 NEWS

Vol.14 2025

行きました！

国際交流 NEWS 第 14 号

- 1 2025 年度 海外研修
- 2 2025 年度 学生受入
- 3 本学留学生の声

## オーストラリア 2025 8/23-9/8 全学科



7 学科より学生 14 名で 17 日間シドニー研修に参加しました。シドニー大学での英語研修、現地の学生との交流、アーバンチャレンジ、病院や高齢者施設の訪問などを行いました。シドニーの人々はと



ても親切で温かく、さまざまな場面で助けてくれました。英語が拙くても気にせず、優しく接してくれたことが印象に残っています。自由行動の時間には、タロンガ動物園やブルーマウンテンなどの有名な観光名所を訪れたり、カンガルーやクロコダイルなどの珍しい食べ物を食べたり、みんなでジェラートのお店に行ったりしました。今回のシドニー研修では、普通の観光旅行では経験できないであろう貴重な時間を過ごすことができ、とても価値のある研修になりました。言語が違う人と話すことへの抵抗感がなくなったり、異文化に触れることで新たな視点を得たりなど学びも多く、行ってよかったと思える充実した研修になったと思っています。

社会福祉学科 2 年 学生

## フィンランド 9/5-15 全学科

5 学科より学生 12 名が 10 日間のフィンランド研修に参加しました。ヤムク応用科学大学では、サイバーセキュリティ、術前看護、麻酔看護の講義を受講した他、キャンパスツアーも行われました。学内は日本の大学では中々見られないデザインが施されていて興味深かったです。メトロポリア応用科学大学では、日本につ



いてのプレゼンテーションやシミュレーション授業を経験しました。特にシミュレーション授業は医療従事者と患者役に分かれて演技をし、良かった点や改善点について映像を見ながら議論する、日本ではあまり見られない形式で面白かったです。そしてフィンランドのサウナやキノコ狩りも体験してきました。サウナで温まった後、湖に飛び込むことが出来ました。自然豊かな中で本場のサウナを体験することが出来て良かったです。またフィンランドのお菓子であるサルミアッキは独特な味がするのでフィンランドに行ったら是非食べてみてください！



医療輔情報学科 2 年 学生

# 行きました！

## アイルランド 9/11-20 薬学科



アイルランド薬学研修では、トリニティ・カレッジでの体験授業や薬局見学、アステラス製薬での学びなどを通して、薬学だけでなく現地の文化にも深く触れることができました。特にライブラリーで見た「ケルズの書」の精巧な装飾は圧巻で、アイルランドが芸術性の高い国であることを実感しました。また、街を歩けばストリートアートやミュージックが響き、音楽や芸術が自然に溢れていました。さらに、トリニティ・カレッジでの日本人サークルで



は、留学中の日本人や日本のことが好きな様々な国の人々と折り紙やお茶会を楽しみました。アニメやボーカロイドといった話題で、お互いに好きなものが一致した時には、歌を口ずさんだり、踊ったりしてとても盛り上がりました。日本の文化が海を超えて、世界中の人に知ってもらえる嬉しさと、反対に私たちが気づいていない日本の魅力について教えてもらった良い機会でした。



薬学科 3 年 学生

## ドイツ 9/11-21 子ども教育学科

2 年生 6 名、4 年生 2 名がドイツ海外研修に参加しました。この研修では、認定こども園、小学校、中高一貫校などの見学を通して「理想の学校」について話し合ったり、ランダウ大学の学生と共にフランスやお城、日本庭園などへ出かけたなど、貴重な体験をすることができました。現地の学生との交流では、慣れない英語での会話に苦戦する場面もありま



したが、現地の学生が私たちの英語を丁寧に聞きとってくれたおかげで、徐々に自信がつき、会話が楽しくな



っていきました。さらに、ドイツの学校では子どもたちの主体性を引き出す教育が重視されており、日本でも活かせるような多くの学びがありました。短い間でしたが、自身の成長を実感できる充実した研修となりました！

子ども教育学科 4 年 学生

# 行きました！

## ドイツ 9/11-20 理学療法学科



私は解剖ミュージアムで実際のご献体を使った人体を見学したことが印象に残っている。日本では限られた人しか見ることができないが、ドイツは街の中にあり誰でも見学できるようになっていた。そこでは体の仕組みや、病変臓器、生活習慣病の影響などをみることができ、人々が健康に対する予防意識を高める良いきっかけになると感じた。私たちは歴史的建造物を見学する機会がたくさんあった。

ノイシュヴァンシュタイン城に行った際、城内も魅力的だった

が、山道を登り、つり橋を渡り、辿り着いた高所からの景色がと



てもきれいで印象に残っている。

ドイツ研修では国は違うが同じ科目を勉強している学生と交流できたり、ドイツでの理学療法に対する考え方などを学ぶことができるため、共通の話題で話ができたり、自分の考えや経験の幅を広げる機会となった。

理学療法学科 3年 学生



# 来ました！

## ベトナム ホーチミン医科薬科大学より学生受入 10/18-25 <ホームステイ体験>

ホームステイの受け入れはたった 3 日間と限られていましたが、楽しい時間を共有し、忘れられない思い出になりました。

日本の文化を楽しんでもらいたいという思いから、一緒におにぎりを作って学校に持って行ったり、手持ち花火をしたり、温泉に行ったりしました。温泉は本人の希望だったものの、説明をすると日本独自の文化に驚きしばらく迷っていましたが、最終的には「二度とできない最高の思い出になった」と興奮している様子でした。どの体験も一緒に楽しむことができ、たくさん写真に収めたり感謝を伝えたりしてくれるたびに、とても嬉しく思いました。また、ベトナムの文化や日常についても教えてもらい、互いに多くの新しい発見がありました。



ホームステイを通して、国際交流ができただけでなく、国境を越えて心が通じ合えたことが、何よりの喜びです。この 3 日間はかけがえのない、特別な経験になりました。

子ども教育学科 1年 学生



# 来ました！

## タイ タマサート大学より学生受入 10/18-25 <ホームステイ体験>

タマサート大学からやってきた看護学生5名と交流し、そのうち1名をホームステイで受け入れました。放課後は一緒にディナーやショッピングを楽しんだり、期間中に開催された藤龍祭で屋台を満喫したり、リンゴ狩りや吹割の滝へ観光に行ったりできたことで一気に距離が縮まり仲良くなることが出来ました。一番の思い出は、ホームステイ先である私の自宅と学校の行き帰りやショッピングなどの道中です。日本とタイの文化の違いやお互いの国で流行っている歌手やアイドル、SNSの話でとても盛り上がりました。家に帰ってから話で挙



がった流行の動画を撮ったり、簡単なゲームをしたりして楽しい時間を過ごしました。去年ベトナムの学生を受け入れた時と比べて、今回は自分から積極的に会話を始められるようになり、英語でのコミュニケーションもスムーズに取れて、自分の成長を実感することができました。この経験を通して、国際交流の楽しさや文化の違いを知ることが出来たこと、何より外国の友達が増えたことがとても嬉しかったです。

看護学科2年 学生



## 本学在籍留学生の声！

ただいま絶賛日本語勉強中！

こんにちはみなさん！

わたしの名前はオッタビアです。

イタリアから来ました。

25 さいです。

しんりがくをべんきょうしています。

こどものとき、はじめてアニメを見て、日本が大好きになりました。

それはお父さんが見せてくれました。

たとえば鋼鉄ジグとか、まじんが-Zとか、となるともう。。。そのアニメの日本語の歌いつも歌っちゃうんだよね！

3月まで日本にいます。

たくさんのばしょに行って、たくさん写真をとりたいです！

私の好きなことばは困ったです。

(ゲームをたくさんやります)

よろしくおねがいします。



Ottavia

